

2014

平成26年5月 - 1

今月の情報



E-mail:honbu@otedama.jp

●お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp

●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL : 0897-32-0302

FAX : 0897-32-0311

高齢者や学生ら120人が笑顔で交流

鹿児島お手玉の会が第11回目のお手玉遊び大会

鹿児島お手玉の会は、平成26年4月19日(土)、20日(日)の両日、鹿児島市のハートピアかごしまで、第11回お手玉遊び大会in鹿児島を開催しました。

大会には、種子島をはじめ県内から120人が参加して、団体戦や個人戦で技を競い、お手玉演舞の披露などが行われました。

19日は、鹿児島お手玉の会の特性の一つである「障害を持った人を対象としたお手玉教室」のテーマで研修を行いました。

障害者や高齢者などが社会的に不利を受けやすい人々が、社会の中で他の人と同じように生活し、活動できる社会、いわゆるノーマライゼーションの時代に、お手玉遊びの楽しさを生活に取り入れる方法を考えました。

20日は、18チームが参加しての団体戦をはじめ、始良ゆりの会、金峰お手玉の会、西之表お手玉の会によるお手玉演舞や、4種目の個人戦などを行い、参加者全員によるお手玉演舞総踊りで大会を締めくくりました。

大会には、60～70歳代が参加の大半を占める中、今回も鹿児島大学の学生が選手として約40人が出場し、鹿児島医療専門学校が10人が審判を務めるなど、世代を超えて笑顔で交流を深めることができました。

大会の様子は、南日本新聞に「お手玉大会学生活躍～文化継承へ高齢者と交流～」とのタイトルで紹介されました。

鹿児島大学の学生は、教育学部で地域社会や生涯学習を学ぶ1～4年生が参加しました。鹿児島お手玉の会の山本清洋会長が、同学部で教授を務めていた縁で、数年前から出場しています。

また、鹿児島医療専門学校の学生は、事前に審判講習会を受講し、ボランティアとして大会に初参加しました。

参加した学生さんたちは、新聞社の取材に次のように話していました。

「年齢や身体機能を問わず楽しめるのが魅力」。

「普段接する機会の少ない地域の方々とも交流でき勉強になる」。

「これからも、伝統として続けてほしい」。

「競技者が生き生きしている様子を見て、自分たちも楽しくなった。今回の経験を、将来の仕事に活かしたい」。

山本清洋会長は、「学生が多数出場する大会は全国でも珍しい。お手玉文化を受け継いでくれることを願っている」と話しています。

